



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール: kyousan@jcp-yachiyo.jp



第681号
2025年10月6日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

北部地域の補完的交通の早期実現を

八千代市内の公共交通は市民の要求に応えていないばかりか、きわめて不十分です。高齢化が進み、免許証を返上する方も増え、その一方で運転手の確保が困難ということから市内のバス便が削減されています。

近隣市(佐倉市、千葉市、習志野市)のように公共施設の利用や買い物ができる公共交通の充実、改善を求める市民の声が多数上がっています。高津地域や勝田台地域などでは住民による公共交通の充実を求める署名運動が取り組まれています。特に、バスの便が悪い北部地域の住民からも強い要望が出ていました。



日本共産党はコミュニティバス(ぐるっと号)がなくなってから、市内循環の公共交通政策の改善を求めてきました。その一歩として北部地域の「補完的交通対策」がやっと動き出しました。

地域住民の積極的な参加を

八千代市は、北部地域と南部地域の交通環境が大きく違います。しかし、交通の便の改善を求める願いはどこでも共通です。北部地域の改善を急ぎつつ、南部地域の改善にも力を注いで一体的な取り組みが早急に必要です。

2025年7月4日、北部地域の第1回「北部エリア補完的公共交通検討分科会」が開かれました。委員のメンバーは市から1名、バス会社から2名、タクシー会社から2名、睦地区、大学町、米本団地、阿蘇地区の福祉協議会支区長・自治会長から4名、専門家(教授)1名、福祉協議会から1名の合計11名で運営されています。地域代表者に声が届くように各地域の住民組織(単位自治会や地区組織)が、寄合や集会等を開くようにすることが大切です。

実証実験の準備を2026年(令和8年)度から開始

日本共産党は9月議会で、第1回分科会のまとめ「住民が公共交通を育てていく意識を持つことが重要」とはどういう意味かを質問しました。市は「意見交換やニーズ調査に積極的に参加を頂くこと。実証運行ではデマンド交通を利用して、多くの住民に周知して頂き、地域住民と行政が共に地域ニーズに合った持続可能な公共交通にしていくことが、公共交通を育てる」と答弁しました。

デマンド式の実証運行をめざし、2026年(令和8)中にその準備が進められる予定です。

そもそも「デマンドって何?」「乗り合いタクシーと違うの?」「料金はどのくらい?」「市内どこでも同じ金額?」「タクシーは何台?」「家まで来るの?」などなど疑問の声日本共産党に寄せられています。

まだ詳細は確定していませんが、引き続き分科会で議論されます。公共交通を育てる気持ちで、市に積極的に問い合わせて、遠慮なく要望していきましょう。